

令和 3 年 9 月 10 日
観光局観光政策課

三重県観光振興基本計画年次報告（令和 2 年度）について（案）

みえの観光振興に関する条例（平成 23 年 10 月 20 日三重県条例第 34 号）第 21 条の規定に基づき、三重県観光振興基本計画（令和 2 年度～ 5 年度）（以下、「基本計画」という。）に基づく施策の実施状況等について、令和 2 年度分を年次報告として取りまとめました。

1 三重県観光振興基本計画の目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響で観光産業全体が甚大な被害を受けたことにより、目標は達成できませんでしたが、安全・安心な観光地づくりや段階的な需要喚起策を実施するなど、観光産業の早期回復に向けて取り組みました。

旧基本計画（平成 28 年度～令和元年度）				新基本計画（令和 2 年度～ 5 年度）	
目標項目	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和元年度 実績値	令和 2 年度 実績値	令和 2 年度 目標値
① 観光消費額（年）	5,273 億円	5,338 億円	5,564 億円	3,283 億円	5,700 億円 以上
② 観光客満足度 ^{※1} （年度）	18.5%	29.9%	38.5%	94.4%	95.0% 以上
③ 県内の延べ宿泊者 数（年）	832 万人	890 万人	860 万人	507 万人	910 万人
④ 県内の外国人延べ 宿泊者数（年）	334,230 人	340,580 人	388,950 人	59,000 人	450,000 人
⑤ 国際会議の開催件 数（年） ^{※2}	25 件	41 件	54 件	1 件	17 件
⑥ 宿泊・飲食サービ スにおける収入の 全国順位（年）				15 位	12 位

※1 旧基本計画では「大変満足」の割合で算出していたが、新基本計画では「大変満足」「満足」「やや満足」の割合で算出。

※2 旧基本計画では平成 28 年度から令和元年度までの年累計であったが、新計画では単年で集計。

2 令和 2 年度の主な取組状況（※ 基本計画に記載の主な取組を抜粋）

(1) 観光誘客の推進「世界の人びとを魅了する三重の観光」

〔体験型観光の創出・充実〕

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、自然体験事業者の感染拡大防止対策を支援するとともに、ワーケーションの推進に向けて、新たな子ども向けの自然体験プログラムづくりや通信環境の整備を支援しました。また、アウトドア企業と連携し、三重の自然体験やワーケーションの魅力発信に取り組んだほか、体験プログラムの充実に向けた研修参加（9 名）を支援しました。【農林水産部農山漁村づくり課】
- 本県において、首都圏等都市部の企業・個人が県内の自然豊かな環境で安心・安全かつ

快適に仕事ができるワーケーションの受入を推進するため、オール三重で“みえモデル”を構築し、地方創生を実現する「みえモデルワーケーションプロジェクト推進方針」を策定しました。【雇用経済部三重県営業本部担当課】

- MieLIP 尾鷲において、地域資源を活用した体験交流として、モンベルアウトドアチャレンジと協同組合尾鷲観光物産協会が「馬越峠と天狗倉山トレッキング」をセラピスト同行で概ね月 1 回実施しました(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した月もあり)。【医療保健部ライフイノベーション課】

〔デジタルマーケティングの推進〕

- 「答えてラッキー！スマホでみえ得キャンペーン」について、県内の観光関連団体や事業者が観光マーケティングにアンケートデータを活用し、戦略的な観光コンテンツの開発や効果的なサービスの提供につなげていただくために、令和 2 年度は収集したアンケートデータを参画事業者が活用できる仕組みを構築しました。

【雇用経済部観光局観光魅力創造課】

- 外国人ライターによる取材記事の制作等により、外国人目線での Web サイトのコンテンツの充実を図ったほか、オンラインを活用した商談会やファムトリップ、海外旅行会社やブロガーと連携したライブ配信などを実施しました。さらに、デジタルマーケティングの手法の一つであるソーシャルリスニングを活用し、SNS や 口コミ サイト に現れる外国人旅行者の生の声を収集し、分析を行いました。【雇用経済部観光局海外誘客課】

〔観光地の魅力づくり支援〕

- 持続可能な観光地づくりをめざし、県内観光地の課題解決に向けた取組を支援するために、(一社) 相模海女文化運営委員会及び (株) 地域経済活性化支援機構 (REVIC) と連携し、泊食分離及び宿泊施設の連携による共同バス運行のモデル事業を鳥羽市相模地域において実施しました。

【雇用経済部観光局観光魅力創造課】

〔三重の認知度向上のための情報の充実〕

- (公社) 三重県観光連盟と連携して公式サイト「観光三重」を活用した戦略的な Web プロモーションに取り組みました。(「2020 年都道府県公式観光情報サイト閲覧者数ランキング」PC 及びスマホからの閲覧者数：それぞれ全国 2 位)

【雇用経済部観光局観光魅力創造課】

〔地域ブランドの推進〕

- 農林水産業者等のコロナ禍に必要となる意識改革を促す人材育成研修として、全 6 回のオンラインセミナーを開催するとともに (48 人参加)、修了者が作り上げたビジネスプラン等の発表機会を設定し (8 件)、バイヤーや投資家などの専門家や観覧者 (56 人) による審査を行い、3 件の取組を表彰、情報発信等を行いました。

【農林水産部フードイノベーション課】

〔MICE 開催地としてのブランド価値向上〕

- 県内 MICE 施設を対象に、デジタルツールを活用した情報発信の支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「国際会議等 MICE 主催者向けガイドライン&実践事例集」を策定するなど、新型コロナ収束後を見据えた MICE 誘致の体制を整備しました。

【雇用経済部 MICE 誘致推進監】

〔日本の文化聖地のイメージを生かした誘客促進〕

- 旅行会社と連携して都市部で齋宮に係る PR 講座を開催（5 回、参加者数 139 人）するとともに、多言語（英語・中国語（繁体字））の齋宮プロモーション動画を作成・発信しました。（2 種類・2 言語合わせて、Youtube 広告を活用して視聴 384,500 回）

【環境生活部文化振興課】

〔三重ならではの観光資源の磨き上げ〕

- 海女漁および関連する習俗について、令和 2 年 12 月 4 日から 6 日にイオン京都桂川で開催された三重県フェアにおいて、海女映像展を開催したほか、令和 2 年 7 月 28 日から 12 月 25 日には三重県庁において、海女が行う“まじない”や“祈り”の習俗についての特集展示を実施するなど、文化財の活用のあり方やその魅力について発信しました。

【教育委員会事務局社会教育・文化財保護課】

〔世界遺産熊野古道伊勢路の保全・活用〕

- 行きたい観光地を選ぶと、最適な旅行ルートのほか、公共交通機関や地域独自の交通手段、自動車でのアクセス等を案内する「旅行ルート作成システム（多言語）」を、リニューアルした県の「熊野古道伊勢路サイト」及び（一社）東紀州地域振興公社の「東紀州観光手帖サイト」と時機を合わせて公開しました。

【地域連携部南部地域活性化局東紀州振興課】

〔エコツーリズム推進〕

- 「伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会」と連携し、エコツアーのガイドを育成するための研修会を 3 回開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のための、「観光ニューノーマル対応」研修や、SDGs 研修などを開催し、エコツーリズムの質の向上に取り組みました。

【農林水産部みどり共生推進課】

（2）観光産業の振興「TOKOWAKA ～変革し続ける観光産業へ～」

〔次世代モビリティの導入促進〕

- 地域の実情に応じた、福祉をはじめとする関係分野と連携した取組や次世代モビリティ等を活用した取組などをモデル事業として、市町、事業者等とともに取り組むとともに、新たな移動手段を導入する地域の拡大を図るため、これらの成果をマニュアルに取りまとめました。また、MaaS 等の新技術を活用した新たな移動手段の導入について検討を行う地域や市町と連携しながら取り組みました。

【地域連携部交通政策課】

〔空飛ぶクルマの促進〕

- 「空飛ぶクルマ」の実用化に向けて必要となるインフラや人材等の調査のほか、実証実験に適した飛行ルートや将来的なビジネスにつながる飛行ルートの策定、実証実験に取り組みました。さらに、「空飛ぶクルマ」の実用化に向けて積極的に取り組む事業者と協定を締結するなど、連携強化や新たなネットワークの構築を図り、「空の移動革命」の促進に取り組みました。

【雇用経済部創業支援・ICT推進課】

〔ストレスフリーな旅行環境整備〕

- 観光と交通の環境整備を一体的に進めるため、「観光地の『まちあるき』」の満足度向上

整備支援事業（観光庁）」を活用し、鳥羽市における受入環境の充実を図るため、観光案内板や非常用電源装置の整備を行うとともに、スマートフォンを活用した外国人向け観光案内を行うための「VISITMIE AI チャットボット」を構築しました。

【雇用経済部観光局観光政策課】

〔日本一のバリアフリー観光の推進〕

- 伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設5か所、観光施設3か所でパーソナルバリアフリー基準による調査を実施しました。また、バリアフリーの観光地づくりを推進するため、県内2地域（北勢・東紀州）で計3回の研修を実施しました。

【雇用経済部観光局観光政策課】

〔社会資本整備の促進〕

- 紀勢自動車道の暫定2車線区間の4車線化について、勢和多気JCTから大宮大台ICまでの区間約10.9kmが事業着手区間に決定されるとともに、直轄国道では、未事業化区間であった鈴鹿四日市道路が新規事業化されました。

【県土整備部道路企画課】

〔暴力団排除〕

- あらゆる機会を通じて、宿泊事業者等の施設管理者に対し、利用規約等への暴力団排除条項の導入を働き掛けました。

【警察本部刑事部組織犯罪対策課】

〔教育機関と連携した観光人材育成〕

- 県内14の高等教育機関（大学・短大・高専）と県で構成する「高等教育コンソーシアムみえ」で取り組む「三重を知る」共同授業において、フィールドワークやグループ学習等で構成されるPBL（課題解決型）科目として、「食と観光実践」をテーマにした授業を実施しました。授業では、松阪市等においてフィールドワークを行い、松阪市の食と観光をPRするプランを検討し、発表しました。（受講者16名）

【戦略企画部戦略企画総務課】

- 鳥羽高等学校では、市内の観光マップや津波発生時の避難経路を案内する看板の作成、地元をPRする商品の企画開発などに取り組みました。また、観光ビジネス系列では、社会人として活躍するために必要なビジネスマナー等を学ぶとともに、創造力、企画力、プレゼンテーション能力を身に付けるための授業を行いました。

【教育委員会事務局高校教育課】

〔観光産業におけるデータ活用・ICT化促進〕

- 本県における観光DXを推進するために、県・（公社）三重県観光連盟・観光関連事業者等が蓄積してきたデータやコンテンツを連携・連動させる観光情報プラットフォームの構築に向けた準備をオール三重で開始しました。

【雇用経済部観光局観光政策課】